

第 278 回競技委員会議事録

1. 日 時：2022 年 8 月 3 日（水）18 時 00 分～20 時 00 分

2. 会 場：連盟本部事務局

3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 13、定足数 9、出席 12（内委任状 1）で成立。

寺本直志委員長、ロバート・ゲラー、斉藤千鶴乃、桜井雅子、浅越ことみ、
吉田正、山後秀幸、仲村篤志

Zoom で出席：正村祐一、久富健史、石橋瑞己

委任状：林伸之

欠席：山田和彦競技会事業担当業務執行理事

オブザーバー：貴戸祥郎

4. 議事の経過及び結果：寺本直志委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 セクショナルディレクター承認の報告

藍檀 玲子 160386 C-01001 静岡県

推薦者 西田 博 31167 S-00138

第 2 号議案 競技会運営規則・試合要項に関するワーキンググループの報告

(1)日本リーグ 2 部で実験導入しているアラートなしについて WG で検討した結果、現状維持とした上で日本リーグ、クラブリーグ再編時に改めて協議する方針であると説明があった。

(2)3 人ペアについて WG で検討した結果、従来通り 3 人ペアエントリーや事前に代理が必要なエントリーは認めないこととする。やむを得ない場合の代理についてはディレクターの判断で認めることができる。

一部のみプレイしたプレイヤーのマスターポイント発行については以下のように変更することの提案があり、これを承認した。

・オーバーオールポイント：元のプレイヤーは 50%以上の出場、参加資格を満たした代理プレイヤーは 66%以上の出場で開催する。参加資格外の代理プレイヤーには発行しない。

・セッションポイント：50%以上の出場で開催する。ただし、2 人がちょうど 50%同士の場合は折半して発行する。

(3)B-a-M 戦で複数のアベレージプラス/マイナスが発生する場合について検討した。ラウンド毎で上限を設定すべきという意見が出され、WG にて具体案を検討することとした。

第 3 号議案 コンベンション・アラートに関するワーキンググループの報告

(1)HANDBOOK にある「コンベンショナル」を「アーティフィシャル」に置き換える検討を行った結果、「コンベンショナル」の方がわかりやすい箇所があったため、現状のまま変更しないという報告があった。

用語集「アーティフィシャルコール」の説明文に「コンベンショナルコールともいう」と付け加える提案があり、これを承認した。

(2)サイキックの基準を「4 点あるいは 2 枚以上」に変更するという提案があり、これを承認した。

(3)用語集に追加する「プレシジョン 1 ♣」の文章案の提出があった。

「1 ♣オープンが ♣の枚数に関係なく 16HCP 以上示すコンベンション」

これを承認した。

(4)1NT に対するダブルが「PEN or TRF to 2 ♣」という約束について問題があるという指摘があり議論した。その結果、規制する場合の具体案を WG で検討することとした。

(5)1 ♣オープンに 3325 のハンドで 1 ♠レスポンスするという取り決めについて、リスト C 以

下での使用可否及びアラート要不要について、WGで検討することとした。

第4号議案 ナショナル、リジョナルの試合環境に関するワーキンググループの報告
WGで検討した下記内容の報告があった。

- (1)特にナショナル競技会において、ハンドサービスよりもセキュリティ面を重視していく方針とする。WGで出された意見の紹介があり、今後具体的な内容の検討を行う。
- (2)地域対抗関東予選の試合要項でクオリファイ条件がわかりづらいという意見があり、修正を検討することとした。

第5号議案 その他議案

国際競技会の固定マスターポイント一覧に一部競技会が抜け落ちているという指摘があり、事務局で確認、修正を行うこととした。

次回競技委員会は2022年10月5日（水）18時00分からの開催を予定する。

以 上